

2020 年度

公立西知多看護専門学校

自己点検・自己評価報告書

2021 年 10 月 1 日

## はじめに

学校自己点検・自己評価を開始して4年目となりました。教員全員の自己評価と在校生・卒業生を対象としたアンケートの実施も2年目から行い、少しずつではありますが改善の努力を続けてきました。今年度で5年目となりますので、自己評価の裏付けとなるデータの提示を増やし、評価の根拠を明らかにしていきたいと思えます。そして、この評価をまとめるにあたり、評価項目の意図に関する教員の共通認識を目指すことの必要性も再確認しました。今年度は、結果報告を学内でも行い、それぞれの項目の意図について共有したいと思えます。

本評価の評価年度である2020年度は、COVID-19による影響を非常に受けた年でした。例年行っていることを行うことが出来なかったこともあり、そのことによる評価への影響がありました。しかし、対面での授業を再開して、落ち着きつつあった夏から少しずつ2022年4月開始のカリキュラム改正に向けての検討を続けました。学内実習の導入や学内技術演習の分散実施など、様々なことに対応しながらも、前を向き、「より良い看護教育」を目指して、新カリキュラムの検討を続けることができたことは、教職員の協力の賜物であり、誇らしく思えます。

今年度は、新カリキュラムの申請の年度となりました。当校の強みを更に強め、カリキュラム改正を変化するチャンスと捉えて、教職員一同、取り組んでまいりたいと思えます。

最後になりましたが、アンケートにご協力いただいた在校生・卒業生に感謝申し上げます。

令和3年10月

公立西知多看護専門学校

校長 竹内 晴子

# 目 次

I	教育理念・教育目的・教育目標 .....	1
1	設置目的 .....	1
2	教育理念.....	1
3	教育目的・教育目標.....	1
II	学校運営 .....	2
1	運営方針及び事業計画 .....	2
2	運営組織及び意思決定機能 .....	3
3	人事・給与システム .....	3
4	学校内組織図.....	3
5	コンプライアンス体制並びに情報公開.....	4
6	情報システム化.....	4
III	教育活動 .....	4
1	目標の設定等.....	4
2	教育方法・評価等.....	5
3	資格試験.....	7
4	教職員 .....	8
IV	学修成果.....	9
V	学生支援.....	11
VI	教育環境.....	13
VII	学生の受入れ募集.....	13
VIII	財務.....	15
IX	法令等の遵守.....	15
X	社会貢献・地域貢献 .....	16
	資料1 .....	17

※評価結果点数は、4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切で教員が評価した結果の平均値を示している。(2017年度評価者：10名、2018年度評価者：9名、2019年度評価者：9名、2020年度評価者：11名)

## 【I 教育理念・教育目的・教育目標】

### 1. 設置目的

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
1. 設置目的が明記されている。	3.6	3.8	3.8	3.8
2. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3.2	3.6	3.1	3.1

「沿革」および「本校の使命」に設置目的が明記されているため、評価に変化はない。

社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想については、2022年度のカリキュラム改正に向けて、従来の病院内看護を中心とした教育から、地域・在宅を視野に入れた教育を検討している。しかし、現行カリキュラムは変更がないため、評価にも変化がないと考える。教員の評価においても、「社会経済のニーズを踏まえた将来構想までは見えてこない」という意見が見られた。愛知県内にも看護系大学が増えている状況の中で、今後、どのように社会経済のニーズに対応していくのかについての検討は必要であると考えている。

### 2. 教育理念

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
3. 教育理念が明記されている。	3.8	3.8	3.9	4.0
4. 教育理念が学生・保護者等に周知されているか。	2.9	2.9	3.0	2.8

評価は昨年度までとほぼ変化がない状況である。ホームページ、学校案内リーフレット、学習要項、実習要項、学生便覧に掲載し、入学式時に保護者への説明も行っている。しかし、周知の程度について、把握していないことと、授業や実習の場面で理念に立ち戻るような意識が教員自身にも低いことが課題であると考えている。現在、カリキュラム改正に向けて教育理念を見直しており、教員の意識も変化すると思われるため、周知方法の見直しとその結果の把握方法も含めて改善できるよう取り組む。

### 3. 教育目的・教育目標

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
5. 教育目的・教育目標により、育成人材像が明示されている。	3.9	3.9	4.0	3.9
6. 教育目的・教育目標は学生・保護者等に周知されているか。	2.9	3.0	2.9	3.1

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
7. 教育目標・期待される卒業生像は、業界のニーズに向けて方向付けられているか。	3.7	3.6	3.7	3.7

教育目的、教育目標、期待される卒業生像は、昨年度までと変化がないため、評価も大差ない状況であった。また、教育理念と同様に、周知の程度について把握していないこと、教員自身も教育場面で立ち戻る意識が低いことを自覚している結果が得られた。ただし、これらについてもカリキュラム改正に向けて見直し、変更の予定である。

## 【Ⅱ 学校運営】

### 1. 運営方針及び事業計画

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
8. 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3.6	3.7	3.7	3.8
9. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.6	3.6	3.7	3.7

組合立の学校として、予算策定や目標管理の時期に運営方針や事業計画を検討して明文化しているため、昨年度までと比較し、大差ない結果であった。

2019年度事業概要および組織目標は以下のものであった。

1. 優秀な入学生の確保を図る
  - 1) 魅力を伝える情報の発信による受験者数の維持・増加
  - 2) 入学試験実施方法の改善
2. カリキュラム改正に向けて教育体制及び教育教材の更なる充実を図る
  - 1) カリキュラム改正に関する情報収集及び検討
  - 2) 学習環境（設備・備品・使用器材等）の整備
  - 3) 教員の講義及び実習指導場面での教授力の更なる向上
3. 公立西知多総合病院への就職希望者を1人でも増やし、採用試験全員合格を目指す
  - 1) 病院との連携による臨地実習指導及びその環境の充実
  - 2) 病院内講師との連携
  - 3) 修学金貸与者及び採用試験に向けた書く力・伝える力の強化
  - 4) 学生の学習・生活全般に対するサポートの充実

## 2. 運営組織及び意思決定機能

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
10. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか。	3.5	3.7	3.7	3.7

組合立の学校として、運営組織や意志決定機能について明文化しているため、昨年度と比較し、評価に変化はなかった。

## 3. 人事・給与システム

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
11. 人事、給与に関する規定等は整備されているか。	3.2	3.0	3.8	3.6

人事・給与に関しては、西知多医療厚生組合例規集に規定されていることに変わりはなく、評価も横ばいである。高評価している教員の回答理由は、「例規集に明記されている」ことと、目標管理を基盤とした「人事評価制度があること」であった。自己点検・自己評価を実施したことで例規集の存在についての周知が出来たことと目標面接などの取り組みの定着が要因として考えられる。ただし、教員による評価では、「どのように人事考課が活かされているかまでは知らない」という意見もあったため、説明が必要であることが分かった。また、看護教員のキャリアラダーの導入を課題として挙げている者もみられた。この自己点検・自己評価を開始した後に、新人教員として4名を受け入れており、今後も採用予定があることから教員自身の成長と教育の質の向上を目指し、取り組む必要があると考える。

## 4. 学校内組織図

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
12. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3.3	3.4	3.9	3.8

当校の組織図は昨年度と変更はなく、評価も変化はない。管理会議、職員会議で教務課、庶務課の連携および意思決定を図り、教員会議、チーム会議等で教務課内の連携、意思決定を実施している。担任と担当教員の業務内容の重なりがあることを問題点として挙げている教員もいたため、業務内容の更なる明確化とその都度の連携を図る必要があると考える。一方、コロナ禍で、様々な意思決定を短時間にせねばならない状況に追い込まれることも多い年度であったが、少人数の組織である利点を活かし、機動力を発揮することが出来たと考える。

ただし、財務に関する意思決定に教員が関わることが出来ていないことを問題視している結果も見られた。財務に関する情報共有も行うようにすることで教員も意思決定に関わることができるようになると考える。

## 5. コンプライアンス体制並びに情報公開

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
13. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3.1	3.1	3.0	3.6
14. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3.1	3.1	3.1	3.5

昨年度と比較し、評価が上がっている。13については、当該年度に県の指導調査を受けたことで、コンプライアンス体制の整備がなされているという評価をしている教員もみられた。学校内のコンプライアンス体制について通報システムや相互にチェックするシステムはないが、相談しやすい環境であることを評価の理由としている教員もいた。

また、14の項目について、ホームページ上で自己点検・自己評価結果も公開していることの周知が出来たことによる評価の変化であると思われる。しかし、未だ、ホームページでの公開を認識していない教員がいることも分かったため、学校内での情報共有が不十分であることも明らかとなった。一方、ホームページの月に1回の更新を高評価の理由としている教員もいたため、継続していく方向である。

## 6. 情報システム化

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
15. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2.6	2.7	2.4	3.2

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、Wi-Fi環境整備、オンライン授業の開始など急激にIT関連の充実が実現した。ただし、教員のパソコンにおけるファイル管理や業務の効率化を目指すことが引き続きの課題として残っている。新カリキュラム開始年度に教務事務の導入を予定しているため、業務の効率化を目指した活動を進めていく。

## 【Ⅲ 教育活動】

## 1. 目標の設定等

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
16. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.8	3.8	3.9	3.5
17. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.5	3.6	3.7	3.3

16も17も昨年度までより、評価が下がっている。これは、評価を実施している2021年度に新カリキュラムの検討をしていることが影響していると思われる。

16 について、「2」という低い評価をしている教員は、「すべての科目で行われているとは思わない」と、その理由を記述している。現在、教育理念から見直し、それに基づいた教育課程の編成も検討中であり、来年度は評価が上がることを期待できる。

17 については、指定規則および指導ガイドラインに準拠した学習時間を確保し、学習要項および実習要項に明示している。また、その見直しを1年に一度、臨地の状況や学習者の変化を踏まえて実施している。そのため、状況に変化はないが、この項目で低い評価をした教員は、「臨床で必要とされているレベルに到達していないのではないか」など、業界のニーズを踏まえていないのではないかという懸念をその理由として記述している。よって、卒業生の状況や臨床で必要とされる看護師像の把握は継続的に実施していく必要があると考える。

## 2. 教育方法・評価等

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
18. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3.1	3.1	2.9	3.3
19. 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	3.1	3.1	3.2	3.0
20. 授業評価の実施・評価体制はあるか。	2.4	1.9	2.4	2.5
21. 関連分野における実践的な職業教育（実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	3.3	3.2	3.3	3.3
22. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	2.0	2.5	3.0	3.2
23. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3.4	3.6	3.6	3.9

18 については、若干評価が上がっている。この理由として、新型コロナウイルス感染対策として遠隔授業による教育方法の工夫や学内演習での教員配置やグループワークにおけるファシリテーターの増員など、制限のある中でのアクティブラーニングへの取り組みを挙げている教員が複数名みられた。

19 については、昨年度と同様に、カリキュラム改正に向けて、他の学校との情報共有、同じ設置主体の病院におけるキャリアラダーも参考にして検討しているため、評価に変化がないと思われる。低い評価をした教員は、その理由について関連施設との連携をしていないと回答している。このことから、関連施設や業界団体の定義などを明らかにする必要があることが示唆された。

20 については、昨年度までと同様で各教員、各外部講師の自主的な評価に依存している状況であり、継続した課題であると認識している。カリキュラム改正を良い機会と捉えて、授業評価を実施するシステムを作っていく。授業評価の方法として2018年度より開始した在学生・卒業生を対象としたアンケ



ート調査（資料1－4）では、実習の評価は上がってきているが、授業の評価は横ばいとなっている。そこで、カリキュラム評価のひとつであると考えられる学生の学習成果として、再試験の状況を表1に示す。他校の状況は、不明であるため、単一年度の結果について評価することはできない。今後、年次推移を把握することで、カリキュラム全体を評価する手段となると考える。また、現行カリキュラムの柱である社会人基礎力に関しては、2020年度に卒業した7回生の結果においても、例年通り、入学当初と比較し卒業時の自己評価は上がるという結果が得られた（表2）。

表1 再試験状況

		7回生	8回生	9回生
2020年度	学年	3年生	2年生	1年生
	再試験科目数	2	20	17
	総試験科目数	7	34	39
	再試験実施率*	28.6	58.8	43.6
	再試験延べ受験者数	2	65	116
	再試験受験率**	1.0	6.4	10.3
	再試験不合格者総数	0	9	7

\*：（再試験科目数/総試験科目数）×100

\*\*：（再試験延べ受験者数/延べ受験者数）×100

表2 社会人基礎力評価結果（5段階評価で13項目の合計65点が満点）

		1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生	9回生
2014年度	年度始	42.3	44.3	45.4	/	/	/	/	/	/
	年度末	44.3	40.3	44.7	/	/	/	/	/	/
2015年度	年度始	/	38.7	43.6	40.1	/	/	/	/	/
	年度末	/	43.0	46.2	43.8	/	/	/	/	/
2016年度	年度始	/	/	46.1	43.7	39.7	/	/	/	/
	年度末	/	/	48.3	36.6	41.0	/	/	/	/
2017年度	年度始	/	/	/	37.0	41.3	37.1	/	/	/
	年度末	/	/	/	39.9	40.9	40.3	/	/	/
2018年度	年度始	/	/	/	/	40.3	40.3	46.1	/	/
	年度末	/	/	/	/	46.8	41.6	44.8	/	/
2019年度	年度始	/	/	/	/	/	41.6	44.8	43.3	/
	年度末	/	/	/	/	/	46.1	43.3	41.1	/
2020年度	年度始	/	/	/	/	/	/	43.3	41.1	43.9
	年度末	/	/	/	/	/	/	49.1	44.3	41.9

21については、評価に変化はなかった。技術教育は体系的に位置づけられているが、昨年度と同様に、臨地実習における技術経験の個人差を問題として認識している教員もいた。実習評価が低い学生ほど技術経験が少ない傾向にあるということもあり、実習内容の遂行と併せて技術経験を増やしていくことが

課題として挙げられる。一方、新型コロナウイルス感染拡大により、臨地実習が出来ず、学内実習に切り替えた期間があったが、臨地を想定した内容で、少人数で実践できるように工夫するなどしていたことを評価の根拠としている教員もみられた。

22 については、評価が若干上がっているが状況としての変化はない。臨地実習評価での指導者による評価、講義における母体病院勤務の認定看護師担当科目の評価、自己点検・自己評価結果についての講評を評価の根拠として挙げている教員が多くみられた。一方で「外部関係者からの評価を受けていない」という理由で評価が低い教員もみられ、評価項目の認識自体にずれが生じていることも課題として認識された。前述したように、今年度の評価結果については、会議の場で情報共有する場を設けることでこのようなずれを改善していきたい。また、学内での技術演習における外部評価がないことを問題視して低評価の根拠としている教員もいたため、学内演習における母体病院看護師との連携も今後の課題である。

23 については、評価は徐々に上がってきているが状況に変化はない。学生便覧等に成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準が明記されていることを評価の理由に挙げている教員が多く見られた。また、それを基に学外委員も含めた学校運営委員会で進級・卒業判定を実施していることを評価の根拠としている教員も見られた。ただし、実習評価における評価基準のあいまいさを指摘する意見も見られ、新カリキュラムにむけてルーブリック評価を導入することで評価の精度を高めていきたい。

### 3. 資格試験

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
24. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.6	3.3	3.6	3.6

看護師資格取得に向けて、教員による国家試験・進学チームを中心に 1 年生から様々な対策を考え、実行していることと、担当教員による個別指導を評価の根拠としているものも見られた。2019 年度は不合格者が 1 名であったが、2020 年度は全員合格とり、評価に値すると考える（表 3）。また、カリキュラム外で、資格取得ではなく検定ではあるが、文章能力の向上を目指し、2020 年度より文章能力検定を取り入れ、その学習を実施していることを評価の根拠としている教員も見られた。

表 3 国家試験結果及び就職・進学状況

	卒業 者数	国家試験 合格者数	就職 希望者数	母体病院 採用試験 受験者数	就職先			進学者数
					母体病院	実習等 関連施設	その他病院	
2014 年度(1 回生)	28	28(100%)	25(89.3%)	20(71.4%)	20(71.4%)	3(10.7%)	2(7.1%)	1(3.6%)
2015 年度(2 回生)	26	24(92.3%)	24(92.3%)	18(69.2%)	16(61.5%)	3(11.5%)	5(19.2%)	0
2016 年度(3 回生)	29	29(100%)	29(100%)	22(75.9%)	22(75.9%)	4(13.8%)	3(10.3%)	0
2017 年度(4 回生)	27	25(92.6%)	27(100%)	18(66.7%)	13(48.1%)	8(29.6%)	6(22.2%)	0
2018 年度(5 回生)	32(1)	29(93.5%)	29(100%)	27(93.1%)	21(72.4%)	5(17.2%)	3(7.7%)	0
2019 年度(6 回生)	26	25(96.2%)	23(88.5%)	17(65.4%)	15(57.7%)	2(7.7%)	5(19.2%)	3(11.5%)
2020 年度(7 回生)	27	27(100%)	27(100%)	24(88.9%)	21(77.8%)	3(11.1%)	3(11.1%)	0

※卒業生数の（ ）内数字は 3 月末までに卒業した者で国家試験未受験者数

## 4. 教職員

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
25. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか。	3.0	2.9	3.0	3.3
26. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか。	2.8	3.1	3.4	3.5
27. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	2.9	2.8	3.2	3.4
28. 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	2.2	2.7	2.8	3.5

25 について、2020 年度は、校長・副校長以外に教務課教員 10 名（その他、会計年度任用職員の実習指導教員 1～3 名）、庶務課 2 名（その他会計年度任用職員 2 名）の体制で学校を運営した。常勤職員および再任用職員の退職に伴い、常勤教員の 2 名補充（1 名は母体病院からの異動、1 名は独自採用）および任期付短時間正規雇用の職員 1 名を雇用し、教育の質を維持できるよう人員を確保している（表 4）。また、1 名が教員養成研修を受講しており、2020 年度採用の教員を除けば、すべての教員が看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインの要件を満たしていることを評価の根拠としている教員もみられた。ただし、実習指導教員の不足を課題として挙げている教員もいたため、引き続き人材確保に努める必要がある。

表 4 教職員数の状況

		2017	2018	2019	2020
教員	常勤	12(内 1 名育休)	11	10	11
	任期付短時間正規雇用	0	0	1	1
	再任用	0	0	1	0
	実習指導教員	5	5～6	3～4	1～3
庶務課	常勤	2	2	2	2
	会計年度任用職員	1	1	1	2

26 について、評価に大きな変化はなく、講師依頼は、引き続き、母体病院を中心にそれぞれに適した講師にお願いできるようにマネジメントを実施している。また、母体病院との連携により教育に関心のある人材の異動が可能となっていること、異動とは別に人材確保に取り組んでいることを評価の根拠としている教員も見られた。

27、28 について、状況に大きな変化はなく、教員の指導力育成など資質向上に向けた取り組みとしては、出張での研修や学会参加、自己啓発での研修紹介と参加の推奨などを行っている（実績は表 5 参照）。また、新たな領域の担当になる場合は、臨地での研修を行い、研鑽を積んでいる。2020 年度は、新型コ

コロナウイルスの影響により、オンライン開催での研修が増えたことにより旅費をかけずに研修参加することが出来たため、例年より多くの研修に参加することが可能となった。そのことが、評価が上がった理由と推察される。

一方、教員用のラダーおよびそれを基盤としたラダー別研修などの計画は出来ていないため、課題であるとする。また、看護の実践家としての研修への参加はほとんどないため、教員歴が長くなることで看護師としての能力に不安を感じるという意見も見られた。今後、母体病院の協力を得て、臨地での研修を計画することも課題とする。

表5 研修参加状況

	出張扱い				自己啓発
	学会参加	自治体主催研修	教員養成	その他研修	
2014年度	2件(2名)	2件(2名)	0件	6件(6名)	5件(8名)
2015年度	2件(2名)	2件(2名)	1件(1名)	4件(4名)	6件(10名)
2016年度	3件(3名)	2件(2名)	0件	1件(1名)	3件(4名)
2017年度	1件(1名)	3件(3名)	1件(1名)	5件(5名)	14件(47名)
2018年度	2件(2名)	2件(2名)	0件	5件(5名)	13件(23名)
2019年度	2件(2名)	0件	1件(1名)	5件(5名)	14件(31名)
2020年度	1件(1名)	1件(1名)	1件(1名)	9件(10名)	9件(18名)

※ ( ) 内の人数は述べ人数

#### 【IV 学修成果】

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
29. 就職率の向上が図られているか。	3.3	3.3	3.7	3.7
30. 資格取得率の向上が図られているか。	3.6	3.1	3.3	3.9
31. 退学率の低減が図られているか。	3.0	3.0	3.2	3.2
32. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	2.4	2.4	2.4	2.7
33. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2.2	2.3	2.2	2.5

29について、表3のように、就職希望者の就職率は100%であるが、希望する就職先への希望が叶わないケースが散見される状況に変化はない。しかしながら、1年生から小論文対策や面接対策の取り組みを行っており、在学生・卒業生アンケートにおいても満足度が高い状態が続いていることもあり、評価に変化がないと考える。

30については、徐々に評価が上がってきている。これは、24の評価と同様に国家試験合格に向けた取り組みを、学生の状況を踏まえて実践していることと、全員合格という結果によると考える。しかし、在学生・卒業生アンケートにおける満足度は若干下がっている。これは、新型コロナウイルス感染予防対策

により自宅での学習が増えたことによる影響であると考え。国家試験受験に向けて、精神的に追い込まれる状況も十分理解し、オンラインやメールでのフォローなど実施していたが、学生にとっては不十分と感じる体制となってしまっていたと認識している。

31については、表6に示した通り、退学者が3名と増加しており、例年見られなかった1年次における退学者が1名見られた。オンラインでの授業が続き、学生の状況把握が出来なかったことを反省点として挙げている教員も見られた。しかし、退学に至る前に本人や保護者との面談などきめ細やかな対応をしていることを高い評価の理由としている教員もいた。

32、33については、里帰りデー時の本人からと、母体病院や他の病院の広報紙などからの情報はあがるが、積極的な情報収集は実施していない状況であり、変化はないが、評価は若干上がっている。しかし、平均値が、ほぼ適切な3点と、やや不適切の2点のほぼ中間であり、改善を目指す項目であることに変わりはない。

表6 退学者数推移

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
総数		2	1	3	1	2	3
内 訳	2012年度入学者	1(3.3%)					
	2013年度入学者	0					
	2014年度入学者	1(3.3%)	0	2【2】 (6.7%)			
	2015年度入学者	0	1(3.3%)	1【1】 (3.3%)	0		
	2016年度入学者		0	0	0		
	2017年度入学者			0	1【1】 (3.3%)	2【1】 (10%)	
	2018年度入学者				0	0	1【1】 (3.3%)
	2019年度入学者					0	1(3.3%)
	2020年度入学者						1【1】 (3.3%)

\*【 】内は休学後に退学した者の数 ( )内は定数30名中の割合

## 【V 学生支援】

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
34. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.2	3.4	3.6	3.7
35. 学生相談に関する体制は整備されているか。	3.2	3.4	3.8	3.8
36. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.1	3.4	3.6	3.5
37. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3.3	3.9	4.0	3.8
38. 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3.2	3.4	3.6	3.5
39. 学生の生活環境への支援は行われているか。	3.2	3.1	3.8	3.6
40. 保護者と適切に連携しているか。	3.4	3.6	3.9	3.8
41. 卒業生への支援体制はあるか。	3.0	3.3	3.3	3.3
42. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	2.9	2.8	2.9	3.0
43. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3.1	3.2	3.0	3.5

34 について、小論文対策、面接試験対策などの実施を担当、管理職メンバーで担うことが定着してきたことを高評価の理由としている教員が多く見られた。また、担当教員が進路についての相談にも乗っている。しかし、母体病院以外への就職に関するサポートが弱いという意見が学生からもあり、担当教員から「西知多以外に就職するなら学校からバックアップはできない」と言われたと低い評価をしている学生の回答も見られた。また、一部の教員もそのことを、評価を下げた理由としていた。実際には、他病院を受験する学生に対しても、面接試験対策や履歴書の指導などを実施している。これらのことより、当校の設置の意図を十分理解しつつ、学生の権利を守り、学校としてのサポートをどのように行い、学生にどう説明していくのかということも含め、支援体制そのものについても、共通認識をすることが必要であると考えます。

35 について、学年担任、学生担当により相談を受けていること、臨床心理士による月に 2 回の「こころの相談室」の開催を高評価の理由として挙げている教員が多く見られた。特に学生担当による個別面接は最低、年に 4 回行い、その他にも公式ラインアカウントやメール、Zoom を利用した個別相談を受けていることも大きな変化である。

36 については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、アルバイトの制限や家庭での経済的困窮が見られた学生もあった。修学支援金の紹介や学校独自で在宅遠隔授業支援給付金として学生 1 人当たり 1 万円の支援金を配布した。その他、学生支援機構からの 20 万円の補助金を基に、新型コロナウイルス感染症対策給付金として 1 人 2300 円の支援を行った。

37 については、学生生活・学習環境担当チームの活動が定着し、年に 1 回の健康診断やその後のフォ

ロー、抗体価検査結果に基づくワクチン接種の勧奨など計画的に関わっていることで評価が安定している。また、新型コロナウイルス感染症対策の一環で、毎日Googleフォームを利用した健康チェックを行う体制を確立したことも大きな変化である。更に、学校内でのクラスター発生予防のための環境整備など学生も巻き込んだ活動を高評価の理由としている教員も見られた。

38については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、課外活動の多くを実施することが出来ない状況であった。このことは学生の健康を守るための決断であり、評価を下げる理由としないとしている教員も見られた。しかし、自治会活動をはじめとする課外活動の実施は、学生の成長において重要であるため、今後、どのような方法でサポートしていくべきかについて検討する必要があると考える。

39については、学生生活・学習環境担当チームの教員が主体となって、学校内の生活環境の整備を実施している。また、Wi-Fi環境の整備やパソコンの補充、感染対策物品の整備などが2020年度に大きく変化したものであった。一方、学習環境整備のための模型の買い替えや図書・DVDの新規購入なども継続して実施している。卒業生・在校生アンケートの結果(資料1)から、視聴覚室へのごみ箱設置、演習器材の買い替えなどを実施した。

40については、大きな変化はなく、評価も横ばいである。保護者への面談は、未修得単位が2つ以上となった時、実習で不合格となった時など、取り決めているタイミングの他、保護者と協力して精神的なサポートを必要としていると判断した場合などに実施している。国家試験対策の一環として、模擬試験での成績が基準に満たなかった場合など、事前に学生に了解を得た上で、自宅におけるサポートのお願いを電話で行うなど実施している。

41については、卒業生への支援体制として、「里帰りデー」の継続、同窓会活動のサポート、図書室・パソコン室利用の開放をしており、大きな変化はなく、評価も横ばいである。ただし、2020年度は里帰りデーの実施が新型コロナウイルス感染拡大により延期となり、年末にオンラインで実施した。更に、母体病院での実習期間も例年に比べると8割程度であったため、実習の機会に行っていた卒業生のフォローも不十分であったことを、評価を下げた理由としている教員も見られた。また、卒業生の突然の訪問にも対応するようにしているが、訪問件数や訪問理由、対応内容などのデータは取っていないため、今後、実績として把握していくことを検討したい。

42については、評価に変動はない。社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備については、既修得単位の認定のみの活動であり、社会人経験のある学生のニーズへの対応は他の学生と同様に担当教員や担任によるもののみであることを低評価の理由として挙げている教員も見られた。

43については、2020年度は高校訪問を実施することが出来なかったため、進路指導の教師および看護師を目指す高校生を対象とした当校のPR用DVDを作成し、郵送した。その中で、当校の教育方針等は説明した。この取り組みを高評価の理由としている教員も見られた。また、例年行っている職業講話も依頼が一度のみであったが実施し、それとは別に、当校在校生による卒業高校での在校生対象の講演にも一度協力することが出来た。評価の平均値が上がっているが、高校訪問をしていることをその理由としている教員が複数見られたため、評価年度の認識が間違っていた可能性も考えられる。

## 【VI 教育環境】

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
44. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	2.1	2.6	2.7	2.9
45. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	2.1	2.3	2.9	3.0
46. 防災に対する体制は整備されているか。	2.7	2.7	2.9	3.0

44 については、評価が若干上がっているが、在校生・卒業生アンケート（資料1-7）においては、若干下がっている。教員による評価が上がった理由は、Wi-Fi 環境の整備をはじめとしたオンライン授業実施に向けた施設・設備の整備であった。一方、三密を避けた授業実施のため、体育館の冷暖房完備や視聴覚室の床の補修が不十分であることを、評価を下げた理由としている教員も見られた。また、施設の老朽化は否定できず、在校生・卒業生アンケートにおける冷暖房設備への不満も継続している。引き続き、必要な予算を計上し、施設・設備の改善に努める必要がある。

45 については、変化はなく、評価も横ばいであった。新型コロナウイルスが感染拡大する状況においても、おおよそその実習施設において、実習受け入れが継続されたことに感謝すると同時に、実習生としての学生の生活を整えるきっかけとなったと認識する。このことが、将来医療職として働く学生にとって、大きな学びとなったと考える。一方、実習で学生が使用するワゴンや清潔ケアに用いる物品が不十分であるという評価をしている教員も複数見られた。学生の実習後のアンケートでは、そのような意見はないため、今後、状況を把握し、必要に応じて申し入れをしていく。

46 については、年に1回の防災訓練の実施と防災グッズの購入、マニュアルの見直しなどを継続していることなどの活動に変化はなく、評価も横ばいである。実際の場面で、どこまで活用できるのかということ、ガラスの飛散などの危険性について評価を下げた理由としている教員も見られた。実際の場面を想定した防災訓練の実施など、今後も検討が必要である。

## 【VII 学生の受入れ募集】

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
47. 学生募集活動は、適正に行われているか。	3.4	3.8	3.7	3.8
48. 学生募集活動において、教育成果は確実に伝えられているか。	3.2	3.2	3.3	3.5
49. 学納金は妥当なものとなっているか。	3.2	3.4	4.0	3.6

47 については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、高校訪問およびオープンキャンパスの中止という状況が見られたが、評価は横ばいであった。進路相談会への参加（表7）も要請があったものに関しては参加したが、受験者数が昨年度と比較して更に減少した（表8）。高校訪問の代替として、進路指導の



教師および看護師志望の生徒向けの当校 PR 動画を作成して郵送した。この DVD には、各高校の卒業生からのメッセージを加えたことで高校生にとってはインパクトのあるものであったことが 2021 年度入学した学生から感想として聞かれた。また、オープンキャンパスの代替として Web 学校訪問を実施した。参加した生徒で当校に入学した者からは、良い評価を得ているため、オープンキャンパスと並行して、今後も実施していく方向である。オープンキャンパス等参加状況は表 9 に示す。

48 については、実施していることに大きな変化はないが、評価は上がっている。これは、当自己点検・自己評価において、報告書を高校訪問の際に配布していること、ホームページでの情報発信していることを明記した結果であると考えられる。2020 年度は、高校訪問は実施できなかったため、報告書を郵送した。オープンキャンパスも実施できず、その場を活用して教育成果を伝えることは出来なかったが、Web 学校訪問において情報提供することが出来たことを評価の理由にしている教員も見られた。

49 については、引き続き在校生・卒業生からの評価も高いが（資料 1 - 8）、教員の自己評価は若干下がっている。評価を下げた理由として、入学後に授業料以外に必要なお金があること、学習環境整備のために学納金の引き上げが必要と考えていることが挙げられていた。授業料以外に必要な経費については、在校生・卒業生アンケートの意見により、取りまとめて一覧化し、毎年見直しを行って提示している。そのことを高評価の理由にしている教員も見られた。学納金に関しては、他校の状況を踏まえながら、妥当であるかどうかについて毎年検討を続けることが必要であると認識している。

表 7 進路相談会参加実績

	学校別進路相談会			複数校対象進路相談会			学校訪問 対応者数	総対応 人数
	参加 回数	対応者数		参加 回数	対応者数			
		学生	保護者		学生 (社会人)	保護者		
2017 年度	10	79	5	8	106(13)	8	18	216
2018 年度	7	75	1	7	83(5)	10	15	184
2019 年度	9	87	2	4	32(6)	5	6	132
2020 年度	6	75	5	1	4(1)	1	5	90

表 8 受験者数の動向

入 学 対応年	受験者		合格者		入学者の居住地域			
	一般	推薦	一般	推薦	東海市	知多市	名古屋市	その他
2016年	111 108	7 7	24	6	6	8	2	14 (9)
2017年	123 118	7 7	24	6	5	6	6	13 (10)
2018年	104 100	11 11	20	10	5	8	3	14 (14)
2019年	118 115	15 15	18	12	0	9	1	20 (18)
2020年	93 92	13 13	21	9	9	9	1	11 (8)
2021年	87 85	19 19	45	13	9	10	0	11 (10)

※その他下段（ ）内数字は東海市・知多市以外の知多半島内居住者

表9 オープンキャンパス等参加状況

	オープンキャンパス			Web 学校訪問		
	参加申込数	実参加者数	内受験者数	参加申込数	参加者数	内受験者数
2017年度	83名	77名	39名			
2018年度	103名	98名	46名			
2019年度	121名	107名	41名			
2020年度				29名	29名	12名

## 【Ⅷ 財務】

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
50. 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか。	3.1	3.0	3.4	3.6
51. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.4	3.4	3.7	3.6
52. 財務について会計監査が適正に行われているか。	3.8	3.8	3.8	3.7
53. 財務情報公開の体制整備はできているか。	3.5	3.8	3.8	3.7

50 については、評価が上がっている。前年度の評価と同様に、備品の購入などの予算案作成や予算執行状況の把握に教員が関与するようになり、財務基盤が安定していることを実感したことによるものと思われる。新カリキュラムに向けて計画的な備品購入を課題として挙げている教員も見られた。

51・52・53 については、前年度の評価と同様に、組合議会での審議を得ていること、会計監査を受けていること、組合議会報告としてホームページで情報公開されていることを高評価の理由として挙げている教員がほとんどであった。

## 【Ⅸ 法令等の遵守】

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
54. 法令、看護師等養成所指定規則等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.9	4.0	4.0	4.0
55. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3.2	3.4	3.7	3.6
56. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	1.7	2.7	3.0	3.3
57. 自己評価結果を公開しているか。	1.5	2.8	3.4	3.8

54 については、前年度と変化がない状況であり、特に 2020 年度は県の指導調査を受けたことで最高

点の評価を維持することが出来たと考える。

55 については、評価は横ばいであった。2020 年度は、在宅看護論実習における新規実習施設への依頼を行う過程において、患者情報の保護等に関する学生からの誓約書および学校と実習施設の契約書の見直しを行ったことを高評価の理由としている教員も見られた。また、個人情報保護の視点で学生の行動に問題があると思われた際には、厳しい対応を取り、指導をしていることを根拠としている者もいた。

56 については、評価は徐々に上がってきているが、「ほぼ適切」とした理由として改善が不十分であることを挙げている教員も見られた。

57 については、自己点検・自己評価の実施とホームページでの公開を高評価の理由として挙げている教員が複数いた。一方、授業評価を課題としている教員、新カリキュラムの検討のプロセスでカリキュラム評価の実施が出来たことを評価する教員も各 1 名見られた。目標管理における自己評価と誤解している教員もいたため、当自己点検・自己評価結果を共有する必要性も再認識した。

#### 【X 社会貢献・地域貢献】

評価項目	評価結果			
	2017	2018	2019	2020
58. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	2.8	2.8	2.8	2.7
59. 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	3.4	3.4	3.4	3.0
60. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	1.7	2.3	2.4	3.1

58・59 については、新型コロナウイルス感染拡大による影響で例年実施している福祉フェスティバルへの参加およびデイサービス、青少年育成センターの活動への参加の機会が得られなかった。しかし、校内の花壇整備を花植えボランティアの方に依頼したこと、母体病院スタッフに図書の貸し出しを行っていることを高い評価の根拠としている教員もいた。一方、新カリキュラムにおいて、学生が地域を意識するためにも、更に当校の取り組みを地域の方に知っていただく機会を設けることを課題として挙げている教員も見られた。

60 については、1 年に 1 回行っている全体講演会を、母体病院や実習協力施設の職員にも案内し、参加を呼び掛けていること、更にその方法において Zoom を活用したことを高評価の理由としている教員が複数見られた。2020 年度は、Zoom を利用することで遠方の講師に講演を依頼することができ、今後、演者の選定における幅を広げられるきっかけともなった。

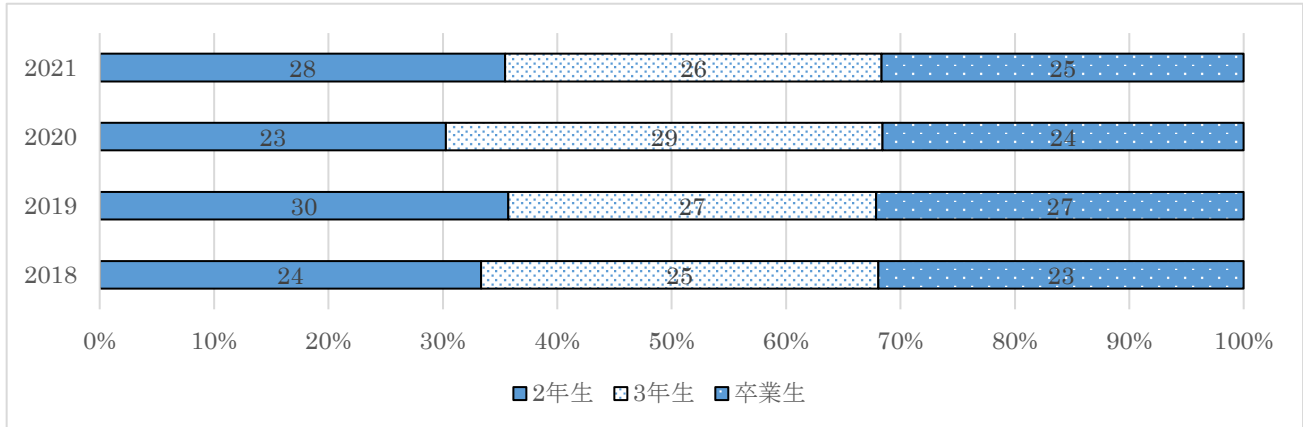
資料 1

## 2021年3月在校生・卒業生アンケート集計結果

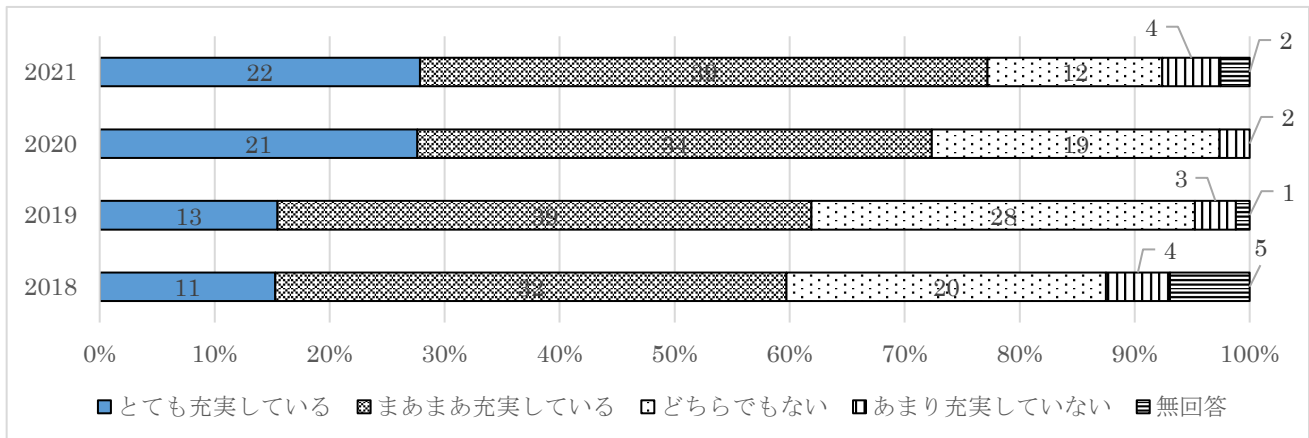
※自由記述部分（固有名詞以外は、原文のまま）は今年度回答結果のみ

### 1 アンケート回答者数 79名

（新2年生：28名 新3年生：26名 卒業生：25名）



### 2 就職に関するサポートについて、あなたはどのように感じていますか？



#### (1) とても充実している

[2年生]

- ・ まだ特に困ったことはないため。

[3年生]

- ・ 小論文対策や面接練習をしてもらえているから。 3人
- ・ 履歴書を見てくれる。面接の練習を行ってくれる。

[卒業生]

- ・ 校長先生に就職の相談にのっていただき、見学会等参加する機会が得られました。
- ・ 面接練習を何回か行ってくれたため。
- ・ 手続きをしてくれたから。
- ・ 面接で聞かれる内容などをプリントにまとめて配ってもらえたりしたから。
- ・ 面接練習をしてもらえたから。

- ・ 面接や小論文など何回もサポートしてくれたため。
- ・ 面接練習もしっかりしてくれた。
- ・ 願書を見てもらえるのは有り難かったです。
- ・ 面接や小論文対策とても良かったです。自信が持てました。

## (2) まあまあ充実している

### [2年生]

- ・ 就職説明会の実施。
- ・ 西知多病院の人が来た。
- ・ 面談の際に、就職のことでアドバイスをしてくれる。
- ・ 説明会があったから。

### [3年生]

- ・ 病棟看護師以外の幅広い看護師の働き方について教えてくれると嬉しい。
- ・ 面接練習ありがたいです。
- ・ 面接対策をしてくれる。
- ・ 全員ではないが面接練習をしてくれているため。
- ・ 情報を定期的に教えてくれるから。
- ・ 面接をしてくれるから。

### [卒業生]

- ・ 説明があり職場についてよくわかった。
- ・ 面接練習を何度も行なってもらえたから。
- ・ 話し合いができたから。
- ・ 面接練習、小論文対策など就職に必要なことを教えてもらえたから。

## (3) どちらでもない

### [2年生]

- ・ まだ一年生なのでよくわからない。
- ・ あまりよくわかってないから。
- ・ そこまで就職の話をしてない。
- ・ 公立西知多総合病院以外の病院の就職についても知りたいです。

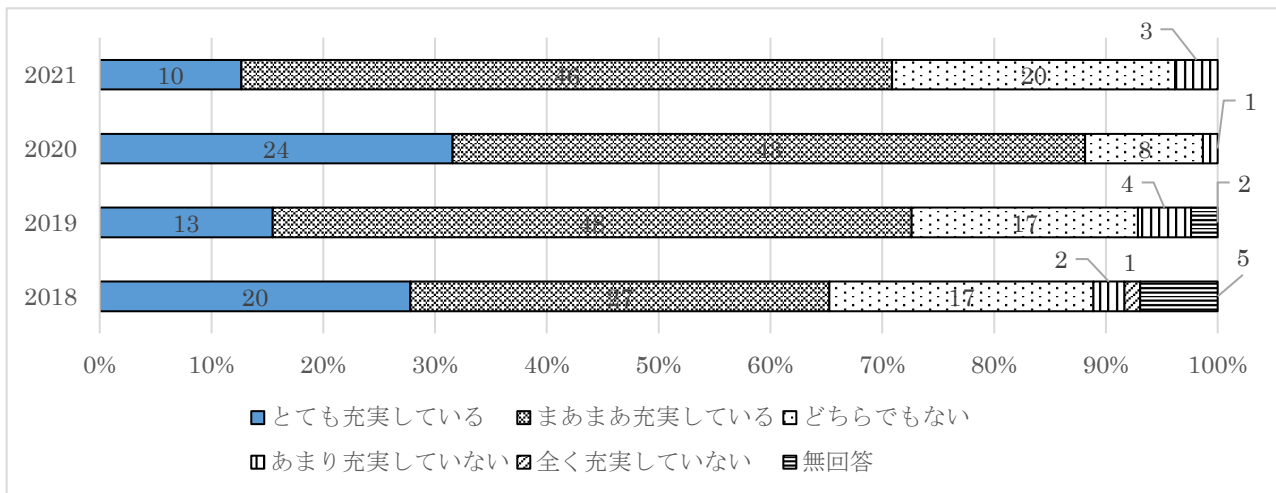
### [3年生]

- ・ 就職できるか心配。
- ・ 自分で探したため。

### [卒業生]

- ・ 入学したとき、西知多以外に就職するなら学校からバックアップはできないと担当教員に言われた。もう少し他の言い方があるのではないかと思った。

### 3 国家試験に関するサポートについて、あなたはどのように感じていますか？



#### (1)とても充実している

[2年生]

- ・ とてもいいと思う。
- ・ 強化組などで勉強する時間を設けているから。
- ・ 小テストやってくれる。

[3年生]

- ・ 特別講座を開催してもらっているから。3人
- ・ 講座を受けられるから。
- ・ わからないことは先生に聞きやすい。
- ・ T先生が色々やったださっていて、ありがたいです。
- ・ 課題を出してくれる。
- ・ 個人的に親身になって相談に乗ってくれるから。
- ・ T先生が頑張ってくれているから。

[卒業生]

- ・ たくさんサポートしてくれたため。
- ・ 強化組の制度など勉強をする時間や場所を設けてくれたため。
- ・ 自分にどこが足りないのか、これからどうしていったらいいのか、自分に合う教材など、マンツーマンで指導してもらえたから。

#### (2)まあまあ充実している

[2年生]

- ・ 三年生の勉強している姿を見て思った
- ・ 全体で復習を行ってくれているから
- ・ 重要疾患ドリルや小テストなどがあり1年生から対策ができています。
- ・ 重要疾患ドリル
- ・ 定期的に模試をやること、模試の復習テストをやるのがよいとおもった
- ・ 文章能力検定の導入や解剖の小テスト

[3年生]

- ・ 課題を定期的に出してくれ、講座を開いてくれる
- ・ 国試対策に熱心な教員がいる為、心強いと感ずる。
- ・ 実際に受けているのは一部の人間に感ずる

[卒業生]

- ・ 充実していたとは思いますが私にはあまり合わなかったなあと感ずました。
- ・ 学校で勉強する環境があり、おすすめの問題集を教えてもらえたから。
- ・ 強化組になると担当の先生が付いてくれるので心強かったです。
- ・ 心配事について気にかけてもらえていたから。
- ・ 話し合いができたから。
- ・ 勉強環境が整っていない。

### (3) どちらでもない

[3年生]

- ・ 講座を開いてくれたりしているが、申し込みの期日までが短くてよく考えて決定できないため上手く活用できていない気がする。もう少し国試のことだから時間をかけて考えたい。

[卒業生]

- ・ 教員はアドバイスをくれたが、結局勉強するのは自分だから。
- ・ ずっと自宅組だったから
- ・ 成績が悪い人たちには充実して感ずるとは思うけど、強化組じゃない人はサポートがやや少ない気がする。でも今のままでいい。

### (4) あまり充実していない

[2年生]

- ・ もうこの時期から過去問に取り組むべき。

[3年生]

- ・ 強制でないから。

[卒業生]

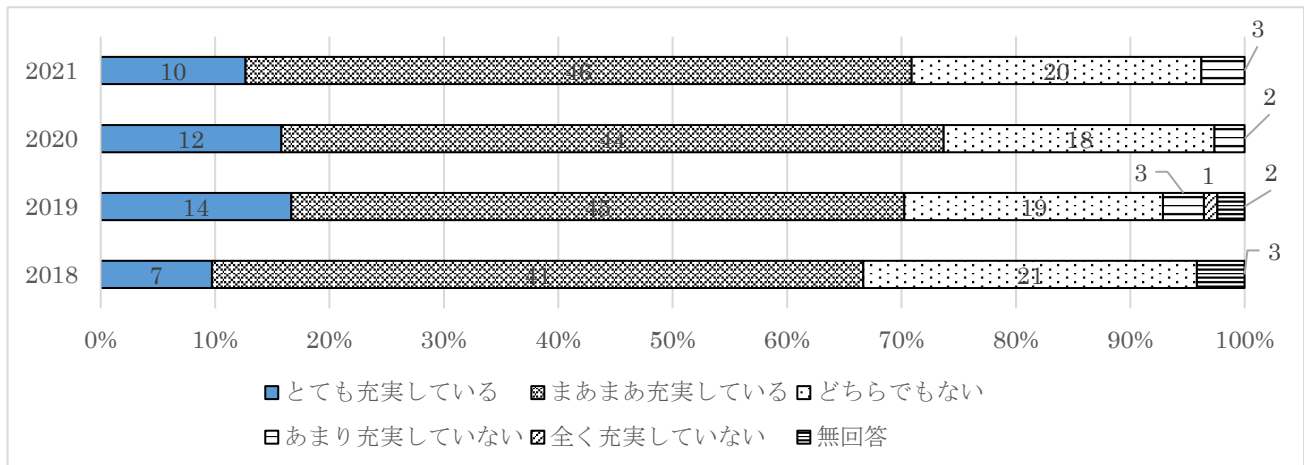
- ・ コロナウイルスの影響で在宅にて一人で行うことが多かったため。
- ・ 特にサポートしてもらったなという感ずはないから。

### (5) 全く充実していない

[卒業生]

- ・ 勉強環境が整っていない。

#### 4 授業についてあなたはどのように感じていますか？



##### (1)とても充実している

###### [2年生]

- ・ コロナ禍でも授業を受けられる環境を作っていただいて、演習のときには少人数のグループごとに細かく教えてくださるところがよいと思った。

###### [3年生]

- ・ わかりやすく教えてもらえるから。
- ・ 実習の際演習がとても役に立った。
- ・ わかりやすい。

###### [卒業生]

- ・ わかりやすかったから。
- ・ 様々な分野の外部講師から講義を受けることができ、貴重な経験になった。
- ・ 三年かけて多くの知識を修得したらグループワークに取り組めた事今後にかかせそうです。

##### (2)まあまあ充実している

###### [2年生]

- ・ 実習で役立つことが多いと実際に実習を行っていて感じるから。
- ・ プロジェクターを使う授業でしっかり資料を配ってくれるため。
- ・ 演習が身につけていると感じるから。
- ・ スライドなどが使用されていてわかりやすいと思います。
- ・ 国家試験で大切になってくる部分を細かに教えてくださるから。

###### [3年生]

- ・ 先生によって変わるから。
- ・ 実習で使える資料をくれる。
- ・ 1年生で行う解剖の授業はDVDの方がわかりやすいかなと思います。

###### [卒業生]

- ・ 資料も用意してくれて授業を受けやすい配慮がある。
- ・ いろいろな先生達が教えてくれて病院のことなどを知れたため。
- ・ わかりやすかったから。



- ・ 解剖生理はもっとテキスト等を用いて覚えるための授業を欲しいです。先生の話は興味深いですが、一年生の知識のない頃に聞いていた身としてはなんのことだか全然わからない...と思うことが多かったです。図や学校にある標本を用いるなどして解剖を理解させてくれる授業をして欲しかったです。

### (3) どちらでもない

[2年生]

- ・ 理解についていけないことが多少ある。
- ・ 先生方による授業は良いと感じる。授業内容によっては、コロナ渦で授業日数が少なくなっている中、する必要はあったのかと思う科目もあった。

[3年生]

- ・ 先生によって授業の質が異なる為。

[卒業生]

- ・ 先生による。
- ・ ちょっと理解が難しい授業もあるから。

### (4) あまり充実していない

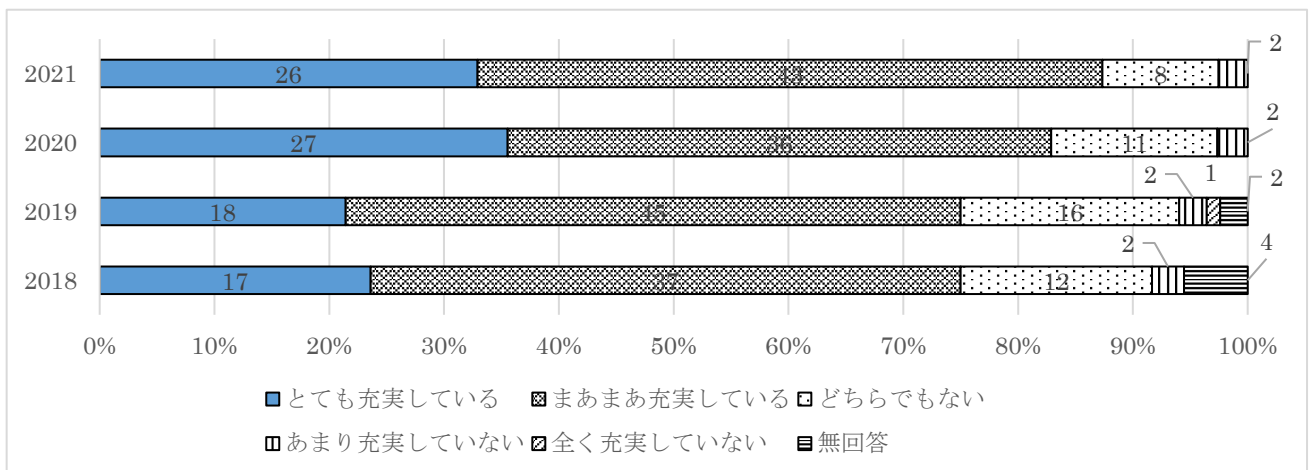
[2年生]

- ・ 教科書を読んでいるだけの内容。

[卒業生]

- ・ テストのときに前日に慌ててやるが多いためその授業のときに身につけていないのではないかと感じたため(でも自分が寝てしまっていることがほとんどです)。

## 5 実習について、あなたはどのように感じていますか？



### (1) とても充実している

[2年生]

- ・ 良い経験になる。
- ・ とても学んだことがあるため。
- ・ コロナ渦でやっていただき感謝。

- ・ 1人ずつに的確な指導をしてくださる。

[3年生]

- ・ 細かい指導をしてもらえているから。
- ・ 先生や指導者がアドバイスをくれる。
- ・ 教員の指導が厚い。
- ・ 指導者さんも先生もとても親身になって指導してくれるから。
- ・ 実際に患者さんと向き合い、何が必要か考えて学ぶことができるから、充実していると思う。

[卒業生]

- ・ 実際に現場に出て経験することによって学ぶことが多いため。
- ・ 先生たちがサポートしてくれてとても助かった。
- ・ 良い環境と指導者、教員のもとでできたから。
- ・ 楽しかったから。
- ・ コロナ禍でも実習に行くことができ、ありがたいと感じた。
- ・ その日その日で多くの事を学び吸収する事ができました。仲間や支えてくれる人が居たから乗り越える事ができました。
- ・ 感染症が流行してからも短縮ながらも病棟での実習を実施してくださったり、学内でも工夫して実習を行うことが出来たので良い経験が出来たと思います。

## (2) まあまあ充実している

[2年生]

- ・ 物品はどのようなものがあるのかなどの説明が欲しいから。
- ・ わからないところを質問した時に質問で返されるとよくわからなくなるため。
- ・ コロナ禍でもしっかりと実習ができていますので充実していると思います。

[3年生]

- ・ 学生を受け入れていただけるだけでありがたいです。
- ・ 先生が指導してくれるが、指導内容が人によって違う部分があり戸惑う部分もあるため。基本的には一人一人に向き合って指導してくれるため、とても助かる。
- ・ 記録がきつい。
- ・ 職場の希望先で実習を行うことができたため病院について知れたし、多くのことを学ぶことができたため。

[卒業生]

- ・ 学校の教員が誰かはいるように配慮してくれるので、困った時に相談できる環境がある。
- ・ わかりやすかったから。

## (3) どちらでもない

[2年生]

- ・ 経験が少なくいからまだよくわからない。
- ・ 看護師になるために必要なことではあるが不安が拭き切れないから。

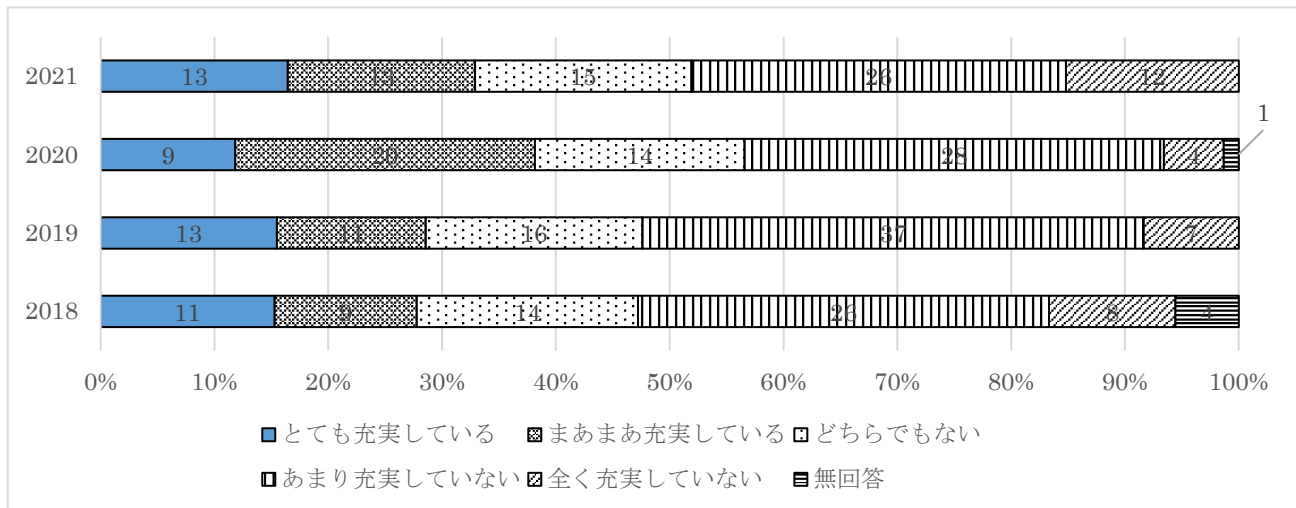
[3年生]

- ・ 記録指導を先にうけるひと、後の人で帰宅できる時間に差がありすぎて気の毒です。教員も他の病棟とのやりとりもあり、大変だとは思いますが。

[卒業生]

- ・ あまり指導を受けないこともあり、放置されているように感じたから。

## 6 学校までのアクセス・立地条件について、あなたはどのように感じていますか？



### (1) とても良い

[2年生]

- ・ 人によると思う。
- ・ 家から近いから。

[3年生]

- ・ 車で20分程なので、ちょうどよい。
- ・ 家が近いから。

[卒業生]

- ・ 近いので。
- ・ 家から車で通える距離だから。
- ・ 駐車場があるのは魅力的です。

### (2) まあまあ良い

[2年生]

- ・ 駐車場があるため。
- ・ 駅から徒歩だと少し遠い。
- ・ 駅から少し遠い。

[3年生]

- ・ 最寄り駅からは自転車を使えば近いから。

[卒業生]

- ・ 電車通学は大変でしたが車通学は駐車場も利用でき通いやすかったです。

- ・ 家から近く自転車や徒歩でも行ける距離であったためよかった

### (3) どちらでもない

[2年生]

- ・ タイミングの良いバスがない。

[3年生]

- ・ 駅から遠い。2人
- ・ 自宅から自転車で登校すると、坂道を登らなければならないから。駅から遠い。
- ・ アクセスの良さや立地条件で学校のことを考えたことがない。

[卒業生]

- ・ 駅から遠い。
- ・ 車ならいいけど電車だと駅から遠い。
- ・ 家が近いから。

### (4) あまり良くない

[2年生]

- ・ 駅から遠い。4人
- ・ 山の上にある。
- ・ 駐車場数が少ない。
- ・ 駅から少し遠くて駐車場があまり広くないため。

[3年生]

- ・ 駅から遠い。2人
- ・ 駅から少し遠い。
- ・ 駐車場も近いとは言えない。
- ・ 駅から遠くて車通学じゃないと辛かった。

[卒業生]

- ・ 駅から遠い。3人
- ・ 車のときは駐車場もあって楽だったけど電車のときに大変だと感じたため。
- ・ 駅から遠い、駐車場が砂利なのでタイヤが悪くなりそう。

### (5) 全く良くない

[2年生]

- ・ 最寄りの駅が遠い。3人

[3年生]

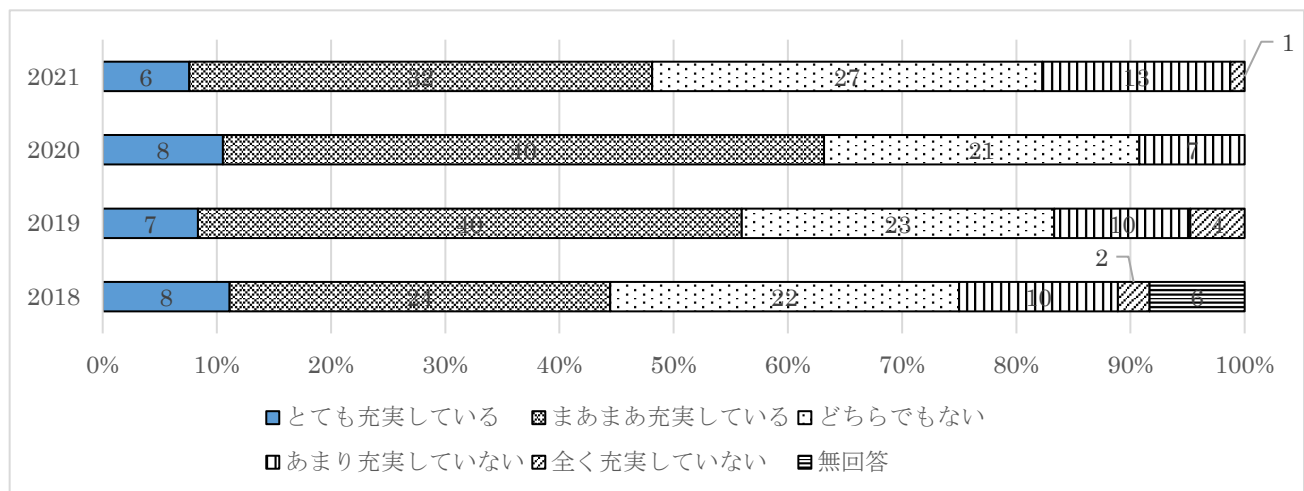
- ・ 駅から遠い。
- ・ 駅が遠すぎる。

[卒業生]

- ・ 駐車場代の割に設備が悪い。
- ・ 駅から遠い、坂多い。

- ・ 電車で来るにはとても不便。

## 7 学校の施設・設備について、あなたはどのように感じていますか？



### (1) とても良い

[2年生]

- ・ 綺麗で使いやすい。
- ・ 不便に思ったことがない。

[3年生]

- ・ 困ることがない。

[卒業生]

- ・ 何不自由なく快適に学校生活を送る事ができました。
- ・ 特に不便は感じませんでした。国試期間に限らず低学年でも過去問(模試など)を利用したい子はいらるのではないのでしょうか。

### (2) まあまあ良い

[2年生]

- ・ 施設・設備など綺麗でいいと思います。
- ・ エアコンがある。
- ・ 技術練習をしやすい環境がいいと思った。
- ・ 冷暖房がきくため。

[3年生]

- ・ 図書の貸出手続きが手書きであるため。
- ・ 冷暖房があるから。
- ・ WiFi 入って良かったです

[卒業生]

- ・ 不自由がないから。
- ・ 駐車場が遠いし高いから。
- ・ 実習や就職に向けて練習に必要な物品があったためよかったと思う。

- ・ 技術練習の際に物品が不足していると感じることはなかった。

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・ 視聴覚室に消しカスを捨てられるゴミ箱が欲しいです。
- ・ よくわからないため。
- ・ 学生通用口が遠い。

[3年生]

- ・ 本や模型などがいっぱいあって良いけど実技練習で使うものが壊れていることがある。
- ・ 施設や設備についてあまり考えたことがない。
- ・ パンなどの自販機があると嬉しい。

[卒業生]

- ・ この学校しか知らないのでどれがいいとかどこが悪いとかはあまり思ったことがない。

(4) あまり良くない

[2年生]

- ・ 視聴覚室にゴミ箱置いてください。
- ・ 視聴覚室の掃除機を変えて欲しい。視聴覚室にゴミ箱を設置して欲しい。
- ・ 視聴覚室の掃除機が重くて掃除が大変。

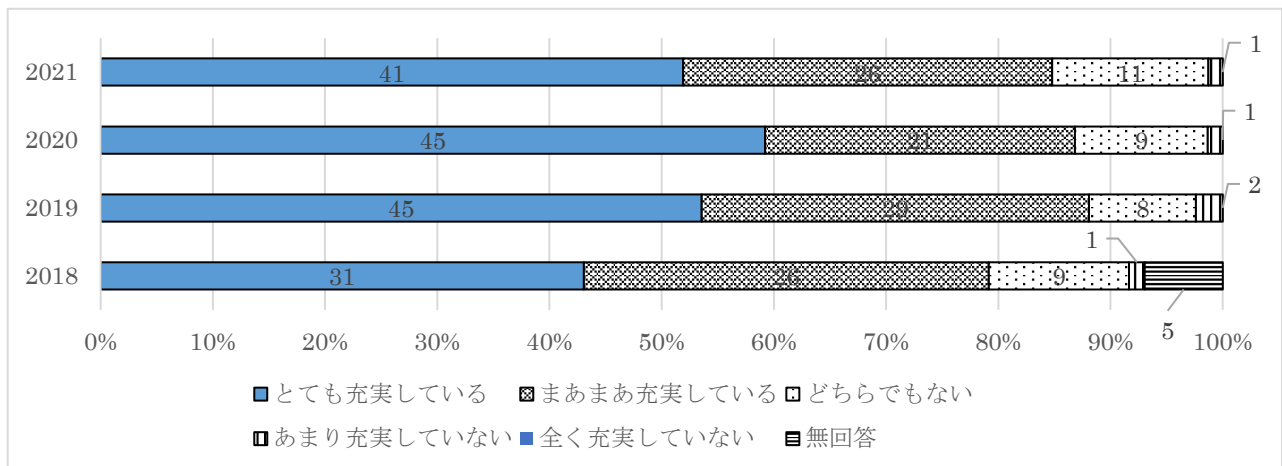
[3年生]

- ・ 寒いか暑いかしかなかく適温がない。
- ・ 物品が古いものが多い。

[卒業生]

- ・ 再利用のものが多く、壊れているものも多いため。
- ・ クーラーの効きが良くない。

8 学費など必要な経費について、あなたはどのように感じていますか？



**(1) とても良い**

[2年生]

- ・ 大学に比べ安い。
- ・ 自分でバイトしながら払える費用なのでよいと思う。
- ・ 学費が安いから。

[3年生]

- ・ 学費が安いのが良い。 4人
- ・ 公立だけあって良心的でありがたい。
- ・ 他の学校と比べて経済的にやさしいと思うから。

[卒業生]

- ・ 学費が安い。 4人
- ・ 安いところがとても魅力的だと思ったため。
- ・ 学費が安いからよかった。
- ・ ちょうど良いです。重要疾患ドリルなどを学年共通で購入しましたが **QB** 必修のほうが実用的だったな、くらいです。

**(2) まあまあ良い**

[2年生]

- ・ 他の学校に比べて安いので負担が少ない。
- ・ 学費が安い。
- ・ 学費が安くてとても助かっているが経費で視聴覚室の机などなおしたらいいと思った
- ・ 必要なお金に文句はない。

[3年生]

- ・ 良心的だがバイトが出来ないため今年は厳しい。

[卒業生]

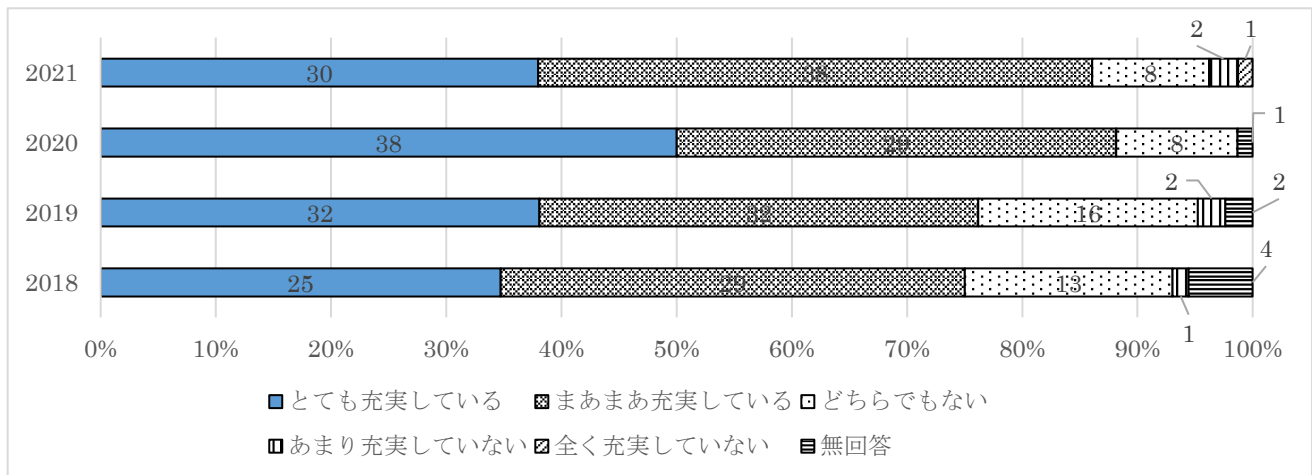
- ・ そんなに高くないから。
- ・ 妥当。
- ・ 後から必要な費用が多い。
- ・ 教科書高い、結局使わない教科書もあってもったいない。

**(3) どちらでもない**

[卒業生]

- ・ 奨学金制度などもあり、学費は安いと思ったけど、そのほかにかかるお金が多すぎる。

## 9 教員について、あなたはどのように感じていますか？



### (1) とても良い

#### [2年生]

- ・ 優しく相談に乗ってくれる。
- ・ 見捨てずに指導してくださるので嬉しいです。
- ・ 優しく丁寧に教えてくれる。
- ・ 授業はとてもわかりやすい。

#### [3年生]

- ・ みんないい先生だから。
- ・ 担当教員がつく制度なのが相談しやすくて良い！先生がみんな優しい。
- ・ 自分の小さな変化に気づいて声をかけてくれる先生もいたから。
- ・ 親身になってくれる。
- ・ 話しかけやすく、優しく教えてくれる。
- ・ 話しかけやすい雰囲気がある。
- ・ 親身になってくれる。
- ・ みんな優しいから。
- ・ 親身である。親しみやすい。

#### [卒業生]

- ・ 実習や学校生活だけでなく、プライベートや人生の相談にも乗ってくれる。
- ・ 本当に親身になって対応してくれました。ちゃんと1人1人を見てくれていると実感しています。

### (2) まあまあ良い

#### [2年生]

- ・ みんな優しい。
- ・ 担当教員が1年間を通してついているので相談しやすいと思います。
- ・ わかりません。
- ・ 親身になってくれるため。

#### [卒業生]

- ・ 担当教員制度がいいと思うから。



- ・ ひとりひとりしっかり生徒と向き合ってくれるため。その反面、理不尽に怒られたと感じたときもあったため、まあまあ良いにしました。
- ・ 気にかけていただきありがとうございます。
- ・ 相談に乗ってくれたり、アドバイスしてくれたためよかった。
- ・ とても優しかった。
- ・ 優しく声をかけてくれることが嬉しかった。

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・ 積極的に干渉してくれる先生もいれば、(生徒に)全く興味のない先生もいるから。
- ・ 個々人に寄り添った対応はとても良い。しかし、目をつけた生徒に少し攻撃的すぎではないかと思う。

[3年生]

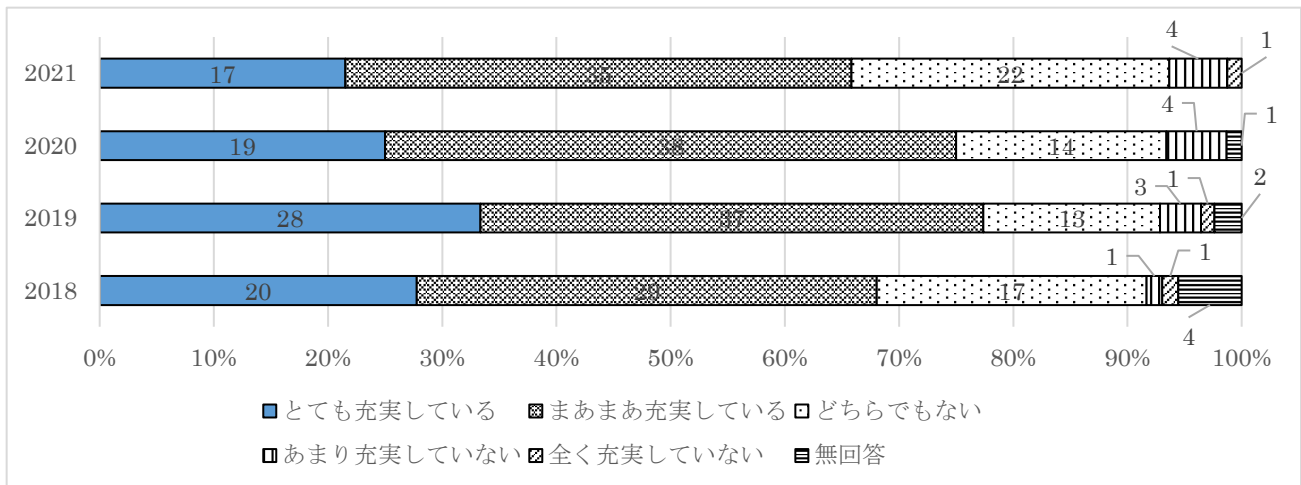
- ・ あの人は価値観を押し付けてくる、という声が多くあがっている方がいる。

4) あまり良くない

[卒業生]

- ・ 教員の気分や生徒によって対応が変わるのをどうにかして欲しかった。

10 学生生活全般について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[2年生]

- ・ 不便に思ったことがない。
- ・ 友達も優しく勉強もしやすい環境であるから。
- ・ 友人と楽しく過ごせている。

[3年生]

- ・ 楽しいから。実習を頑張って早く学校生活に戻りたいです。
- ・ 楽しく学んでいる。

[卒業生]

- ・ 振り返ってみると楽しかったです。素敵な仲間にも出会えました。
- ・ 3年間振り返ってみて自分自身とても成長したと感じたため。
- ・ 3年間楽しかったから。

## (2) まあまあ良い

[3年生]

- ・ 友達といるのが楽しい。実習は精神的にしんどい。

[卒業生]

- ・ なんだかんだ充実していたから。
- ・ 今までの小中高に比べると一番充実して感じた。
- ・ 大変でしたが入学前から多くのことを経験することができました。ありがとうございました。
- ・ 不自由がないから。
- ・ 実習やテストは大変だったけど国家試験や就職に向けて勉強することができたためよかった
- ・ なんだかんだ楽しかった。
- ・ 大変な時期もあったが無事卒業できそうでよかった。

## (3) どちらでもない

[2年生]

- ・ 効率が変わる (掃除など)。
- ・ クラスの仲がよく過ごしやすいと思います。

[3年生]

- ・ 先生に相談したいことがあっても学校のスケジュールの都合で先生と会えないことが多いから。しかし、それは仕方がないことだから。

## (4) あまり良くない

[2年生]

- ・ 他の学校よりも規則が厳しい
- ・ 不安

[3年生]

- ・ 心許せる人がいない
- ・ 仕方ないけど、ご飯のとき寂しい。

## 11 その他学校への要望や期待すること等、自由にお書きください。

[2年生]

- ・ 1人ずつに的確な指導をしてくださる。
- ・ 良い経験になる。
- ・ 特にありません
- ・ 視聴覚室に消しカスを捨てれるゴミ箱が欲しいです。

- ・ 視聴覚室の掃除機を軽いものかコードレスにしてほしいです！！
- ・ 経験が少ないからまだよくわからない。
- ・ 掃除道具が汚くなっているので新しいものに変えてほしいです。
- ・ とても学んだことがあるため。
- ・ 物品はどのようなものがあるのかなどの説明が欲しいから。
- ・ わからないところを質問した時に質問で返されるとよくわからなくなるため。
- ・ A先生の授業の廃止。有益かもしれないがそもそも他の講義と内容が被っている部分が多い。先生方来年もよろしく願いいたします。

## [3年生]

- ・ 教員の指導が厚い。
- ・ 先生が指導してくれるが、指導内容が人によって違う部分があり戸惑う部分もあるため。基本的には一人一人に向き合って指導してくれるため、とても助かる。
- ・ 学生を受け入れていただけるだけでありがたいです。
- ・ 指導者さんも先生もとても親身になって指導をしてくれるから。
- ・ 実際に患者さんと向き合い、何が必要か考えて学ぶことができるから、充実していると思う。
- ・ 細かい指導をしてもらっているから。
- ・ 感染について気を付けて欲しいと先生方から言われますが、電車通学だと朝の通勤ラッシュと重なり感染に気をつけようがない場合もあります。そのため可能な限り **zoom** での授業を継続してほしいです。
- ・ 記録指導を先にうけるひと、後の人で帰宅できる時間に差がありすぎて気の毒です。教員も他の病棟とのやりとりもあり、大変だとは思いますが。
- ・ 先生や指導者がアドバイスをくれる。

## [卒業生]

- ・ 考えが古いところがある。